

道路建設工事における地山、岩石を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	15～16	林道工事において、伐採した木を搬出作業中に足を滑らせて転倒し、約20m程斜面を転がり落ちた。	77	—
5	9～10	勾配のある地山法面で、伐採した樹木の枝打ち作業に移動する時、一部分が急勾配（約40度）になっている所で法面下方に足を滑らして転倒した。その際に、切株の突起物に接触して左肩甲骨を骨折し、そのまま滑落して強く手を着いた際に左手首も骨折した。	65	10～29
6	9～10	砂防堰堤を整備するための工事用道路工事において、支障木伐採作業後、次の作業箇所へ移動する際、急斜面で、足元が木枝や落葉等により不安定な状況だったため、足を滑らせ転倒し、斜面を3m～4m程転がり落ちた。	32	1～9
7	13～14	除草作業中に、濡れていた草に足を取られ、作業機械ごと5メートル程滑り落ちた	60	30～49
7	13～14	右岸上流側の工事現場で、右岸側斜面の途中にある工事箇所へ向かう際、設置されている仮設安全通路（階段等）を利用せず、斜面を、親綱をつたい降りていたところ、足を滑らせ14m下の谷底へ転落した。	51	30～49
7	13～14	現場にて、寒冷紗のたるみを直そうとして鋼管を支えているとき、突風で寒冷紗が煽られ、鋼管が浮き上がり、バランスを崩した。斜面（勾配1.2割程度）から6m程回転しながら転落した。	47	30～49
7	11～12	法面でロープを設置する作業中に、足を滑らせて（想定）、6～7m下の道路に滑落した。当時、ロリップをロープに接続していなかった。	39	1～

				9
9	10～ 11	当社倉庫裏の斜面で、草刈作業をしているときに、上り斜面で足場を変えたときに足を滑らし、前に倒れ、滑り落ちてきた刈り払い機の回転刃に、右手手のひらが接触し、切傷したものである。	19～ 29	10
9	17～ 18	山間部斜面を当日の業務が終了して、歩いて車の所まで下っていたところ斜面の一部がぬかるんでいた為、足がすべりあおむけに転倒、その際、左肩を強打し負傷した。	58～ 9	1
9	15～ 16	台風18号の災害調査で林道に行き現場内の下り坂を下りていた時に、足を滑らして肩から落ちた、当時は、さほど痛みがなく、作業終了後帰宅した。後日、肩の骨にひびが入っていると、診断を受けた。	38～ 49	30
9	14～ 15	当社の土場の回りの雑木を伐採中に右足が石につまずき、左足首を骨折した。	57～ 9	1
11	11～ 12	林道改築工事の法面にシートを覆う作業等をしていたが、昼休憩の為林道横に置いてある休憩所まで降りていた時に、足が滑り1.5m位の高さより滑落し負傷した。	55～ 29	10
11	9～ 10	坑門背面埋戻し工事の施工管理のため、盛土材を巻き出した段差（H=30cm一層）箇所を移動する際、段差に足を滑らせて転倒し、不自然に着地した右足首に全体重がかかり負傷する。＜原因＞・盛土材を巻き出した段差（H=300）急勾配・被災者の意識が慌てていて、考え事をしていて、不注意。	47～ 9	1

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_11.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html)